

ジェンダー研究所

2022年度事業報告書によせて

ジェンダー研究所長 戸谷 陽子

お茶の水女子大学ジェンダー研究所 2022 年度の事業内容および活動の報告をお届けします。過去 2 年間余の新型コロナウイルス感染症パンデミックが収束とはいかないまでも、2022 年度は、年度のはじめから大学内外において活動制限が緩和されて始まりました。感染症に注意しつつ、パンデミック後の活動の在り方を手探りで模索しながら活動し、新たな手ごたえを得られた年でもあったと思います。中でも事業や企画推進の形態は、それまでのオンライン中心から、原則として対面／オンライン併用とし、両形態の特徴を把握しそれらを活かせるように企画を進めました。海外との実際の交流も一部ではありますが復活し、その他 IGS セミナー／研究会 9 件（うち研究協力員研究報告 2 件）、グローバルリーダーシップ研究所との共催も含め、国際シンポジウムは 3 件開催するなど、所長以下、専任教員、研究員、研究系および事務系のスタッフが協力して、精力的に研究・教育活動および研究交流を進めることができました。高水準の研究プロジェクトの実施、国際シンポジウム・IGS セミナー等の開催、学術雑誌の刊行、教育プログラムの実施、国際的学術ネットワークの構築、研究成果の発信と社会還元といった事業において、今年度もいっその成果を上げることができましたことをここにご報告申し上げます。

当研究所の目的は「ジェンダーに関する総合的、国際的な研究および調査を行うとともに、ジェンダー研究者の育成に資する。」と規則に定めており、ジェンダー研究発展のための使命と責任を実感する次第です。これを基本理念として、今後も、確固とした学術的研究成果に支えられた、研究・教育その他の実践活動を推し進め、よりよき社会への還元と啓発を続けてゆきたいと考える次第です。日頃ジェンダー研究所の活動をご理解くださり、ご支援・ご協力をいただいておりますみなさまに心より御礼を申し上げますとともに、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。